

豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第2号

発行日 2012.5.7

2012年3月調査結果

～ 前回10月調査より総じて上向きも、経済状況の厳しさの実感は不変 ～

本年3月末を足元の時点として、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協同して、豊田に居住もしくは勤務されている方を対象として、「身の回りの景気をどう感じているか」を3つの視点から調査させて頂きました。また特別アンケートも行いました。

<アンケートにご協力いただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

景気実感指数 (DI指数)

3つの視点

- (現状判断) 2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？
- (先行き判断) 今から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想していますか？
- (水準判断) 今、現在の景気実感はどうですか？

24年3月の豊田市の景気天気図 (アンケートの調査結果) 全国、東海 (静岡を含めた4県) は内閣府3月調査結果。

	現状判断 DI				先行き判断 DI				水準判断 DI			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	48.4	55.1	63.3	52.0	47.6	48.4	51.6	48.2	32.9	44.9	53.3	39.0
全国	51.1	51.0	58.1	51.8	49.3	48.8	54.3	49.7	45.4	46.3	55.7	46.7
東海	51.4			52.7	47.4			49.2	47.4			48.2

大きな晴れ: DI 60点以上 / 晴れ: 50～60点未満 / 曇り: 40～50点未満 / 雨: 40点未満

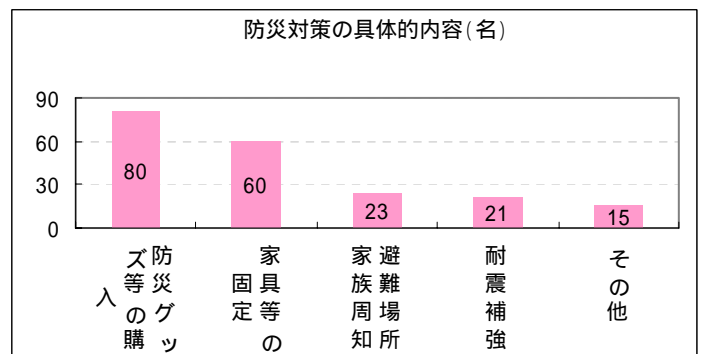
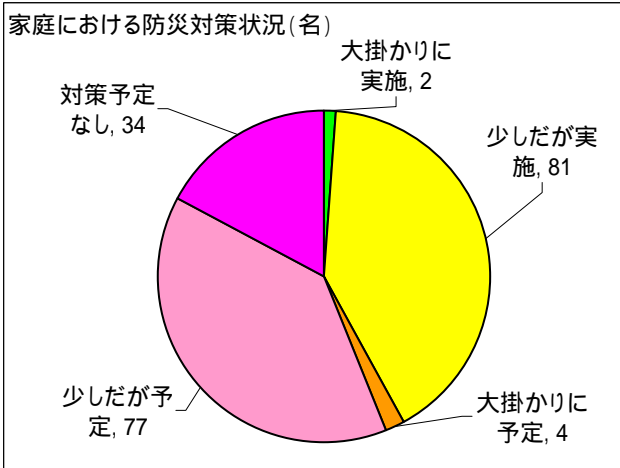
23年10月の豊田市の景気天気図



特別アンケート モニターの皆さんの災害への備え

～ 巻末に掲載 ～

80%超の方がご家庭で何らかの防災対策を実施しておられます。
 75%の方が勤務先で何らかの防災対策を実施しておられます。
 一方で、勤務先でBCP (災害時の業務継続行動計画) を策定、策定予定と答えた方は30%に止まっています。



現状判断DIは「52.0」

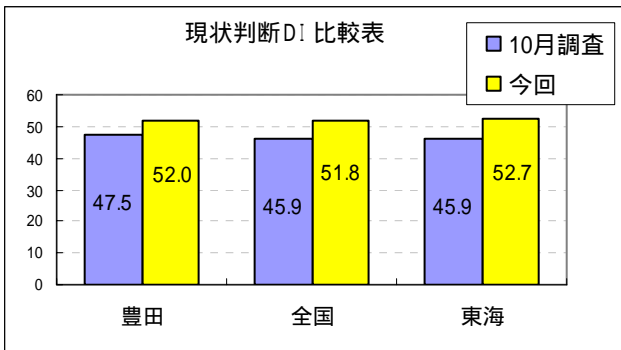


～ 昨年10月比4.5ポイントの改善

(1) 回答別構成比

構成比		良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI
本調査	豊田	4.5	26.3	48.5	14.6	6.1	52.0
内閣府	全国	2.3	27.4	49.9	16.0	4.4	51.8
	東海	2.7	30.6	47.0	14.2	5.5	52.7

(2) DI比較表



現状判断DIは、企業関連（製造業）、雇用関連を中心に、受注量、求人数、取引先企業の様子などから回復を感じておられる方が半数を若干超えました。全国、東海の3月もほぼ同じ50強となっています。昨年10月は豊田は曇りでしたので、晴れに改善しました。

しかし、その一方で、ガソリン価格高騰や厳冬などから、企業関連（非製造業）、家計関連、中でも小売、住宅を中心に、“変わらない”、一部に“悪くなっている”との声が根強くあり、その結果、東海が52.7に対し豊田は52.0。また、昨年10月からの改善幅も、全国、東海に比べ豊田は、少し小さくなりました。

(3) 景気モニター業種別比較 (DIが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市(A)	全国(B)	(A)-(B)	東海(C)	(A)-(C)
家計動向関連	48.4	51.1	2.7	51.4	3.0
小売関連	47.2	49.9	2.7	-	-
飲食関連	50.1	49.1	+ 1.0	-	-
サービス関連	51.5	53.7	2.2	-	-
住宅関連	41.7	53.0	11.3	-	-
企業動向関連	55.1	51.0	+ 4.1	-	-
製造業	58.9	52.2	+ 6.7	-	-
非製造業	45.4	50.9	5.5	-	-
雇用関連	63.3	58.1	+ 5.2	-	-
合計	52.0	51.8	+ 0.2	52.7	0.7

景気モニターのコメント紹介 + : 回復感あり - : 回復感なし

- + 震災、タイの洪水からの回復が見られ、受注量増に伴い残業時間も増加傾向にある（製造業従業員）
- + お客様からの人材要望数が増加。半年以上求人をしてこなかった企業からも求人が出された。（民間職業紹介機関等）
- 価格重視の購買傾向は変わらず、付加価値を有しても直接消費に結びつかない状況（小売店経営者）
- 公共工事の減少、他社との競合により苦しい状況に変わりない（非製造業経営者）

先行判断DIは「48.2」

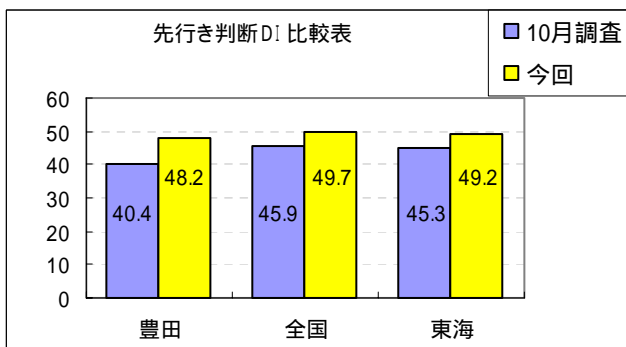


～ 前回調査比7.8ポイント改善も全国・東海を下回る

(1) 回答別構成比

構成比		良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
本調査	豊田	0.5	25.3	47.9	19.2	7.1	48.2
内閣府	全国	1.6	25.0	49.4	18.6	5.4	49.7
	東海	1.8	24.2	50.2	16.4	7.3	49.2

(2) DI比較表



2～3ヵ月先行きの判断DIは、昨年10月比急回復し、先行き見通し不透明感が改善しています。しかし、引続き50台割れとなっており、現状判断は晴れ、先行きは曇りとなっています。

業種別に、DIが50以上（晴れ）は、家計関連のサービス、住宅、雇用関連、それ以外は40台（曇り）となっています。

全国、東海との比較でも、豊田は、昨年10月対比で、全国、東海を上回る急回復となりましたが、それでもまだ全国、東海よりもDIが低いのが実態です。

とくに、家計関連の小売、飲食のDIの低さが目立ち、これら業種には回復に遅れが見られます。

(3) 景気モニター業種別比較 (DIが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市(A)	全国(B)	(A)-(B)	東海(C)	(A)-(C)
家計動向関連	47.6	49.3	1.7	47.4	+ 0.2
小売関連	43.9	48.8	4.9	-	-
飲食関連	41.7	48.8	7.1	-	-
サービス関連	53.7	50.4	+ 3.3	-	-
住宅関連	52.7	50.3	+ 2.4	-	-
企業動向関連	48.4	48.8	0.4	-	-
製造業	48.3	49.7	1.4	-	-
非製造業	48.9	48.0	+ 0.9	-	-
雇用関連	51.6	54.3	2.7	-	-
合計	48.2	49.7	1.5	49.2	1.0

景気モニターのコメント紹介 + : 回復感あり - : 回復感なし

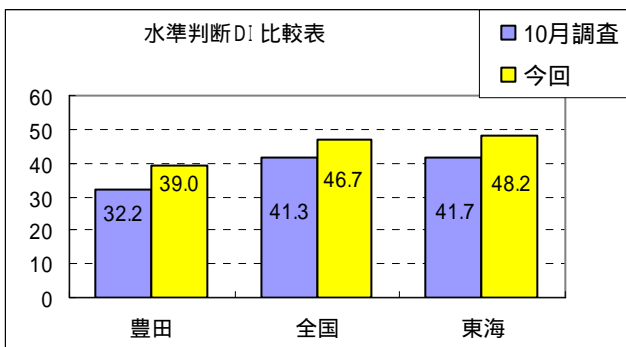
- + 自動車関連が忙しくなっているのでは多少良くなるのではないかと(求人情報誌編集者)
- 燃料高騰、消費税等増税の話題が多く、その話題が主婦の中では消費の抑制になっている(商店街代表者)
- 短期的な生産計画は上向きも、国際競争の渦中にあり、今後の経営見通しは依然不透明である(製造業従業員)
- 景気好転の兆しはあるかもしれないが、私達のところまで良い影響が及ぶのはいつかわからない(非製造業従業員)

水準判断DIは「39.0」 ☁️ ~ 依然として経済状況の厳しさ実感は継続中 ~

(1) 回答別構成比

構成比		良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い	DI
本調査	豊田	1.5	14.6	34.4	37.8	11.7	39.0
	全国	3.1	23.1	40.9	23.2	9.7	46.7
内閣府	東海	3.7	24.7	42.5	19.1	10.0	48.2

(2) DI比較表



昨年10月の豊田の景気の水準判断DIは32.2で、41台の全国、東海に大きく見劣りしておりました。3月調査でも多少キャッチアップしたものの見劣りの状況には変化はありませんでした。

3月の景気の水準判断DIでは、豊田は雨、全国、東海は曇りです。豊田以外の地域での復興需要であること、また、生産シフトが進んでいることなどが影響していると考えられます。

業種別に見ても、押し並べて全国を下回る水準であり、特に家計関連の飲食DIが20台と極めて低い水準に留まる結果となりました。一方、改善が顕著だったのは製造業(前回調査比12.7ポイント増)であり、自動車産業の回復具合を良く表した結果となりました。

(3) 景気モニター業種別比較 (DIが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市(A)	全国(B)	(A)-(B)	東海(C)	(A)-(C)
家計動向関連	32.9	45.4	12.5	47.4	14.5
小売関連	33.3	43.9	10.6	-	-
飲食関連	27.8	42.6	14.8	-	-
サービス関連	34.0	49.3	15.3	-	-
住宅関連	30.5	45.4	14.9	-	-
企業動向関連	44.9	46.3	1.4	-	-
製造業	48.1	48.4	0.3	-	-
非製造業	36.3	45.2	8.9	-	-
雇用関連	53.3	55.7	2.4	-	-
合計	39.0	46.7	7.7	48.2	9.2

アンケートの詳しい結果は、豊田商工会議所及び豊田信用金庫のホームページをご覧ください

ホームページには「景気モニターの方から寄せられた貴重なご意見」「景気の現状・先行きを判断した理由」等、本誌に掲載できなかったより多くの調査結果掲載しております。

豊田景気実感調査まとめ(24年3月調査)

全体を総括しますと、世界経済の不透明さは残っているものの、震災からの復旧や円安、株価の改善傾向等から、豊田も、全国、東海と同様に景気が上向いていると判断できると思われます。しかし、地域外での復興や地域外への生産シフトの動きもあり、自動車産業へのウェイトの高い当地域としては、回復感は全国、東海に比べ、少し弱いものになっています。

従って、昨年10月の悲観的とも言える先行き不透明感が急ピッチで払拭されてはいますが、とくに景気の水準判断はなお厳しいというのが豊田市民の皆さんの見方となっています。また、改善されたとは言え、先行き見通しについても、全国、東海と比べて若干慎重な見方を継続されています。次回は10月調査となります。

回答種別 国（政府）への要望 市・豊田商工会議所に対して 豊田信用金庫に対して 景気の見方 その他

- 景気対策として、土地の使用制限の緩和や商業施設の誘致を推進して欲しい（自動車備品等販売店経営者）
消費税等の増税に関して、政府、国会議員がまず身を削るべきだ。現状では到底賛同できない。（タクシー運転手）
国際水準をはるかに上回る法人税率の軽減、電力の安定供給、TTPの早期締結、過度な環境負荷提言要請の見直し、労働規制の緩和等を国に申し入れて頂きたい。（製造業経営者）
- イベント時の交通の不便さ、食事のできる店が早い時間で閉まる等、豊田市の街に対する不満を良く聞く。もっと豊田の街のファンを増やせるような施策に取組んで頂きたい。（タクシー運転手）
引越に伴う子ども園の変更手続きが大変であった。そうした手続きの簡素化をして頂きたい。（レストラン経営者）
- 本調査を生かした施策、商品（BCP取組対策融資等）を開発して欲しい。（ゴルフ場経営者）
会員に対するサービス向上策を検討して欲しい。（設計事務所経営者）
- 今年になって為替、株式市場等が好転しているが、欧州、米国等にはまだ経済的地雷が埋まっており、欧州危機のような事態の発生も考える必要がある。（住宅販売経営者）
- 節約が一巡し、必要なものは認められる、売れる様になってきました。また、新しい企画等を提案できる雰囲気になってきました。（製造業社員）

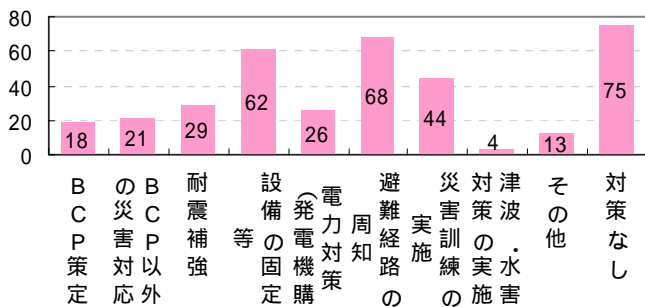
特別アンケート モニターの皆さんの災害への備え ~ 1頁からの続き ~

（1）ご家庭における防災対策状況 ~ 80%超の方が何らかの防災対策を実施 ~

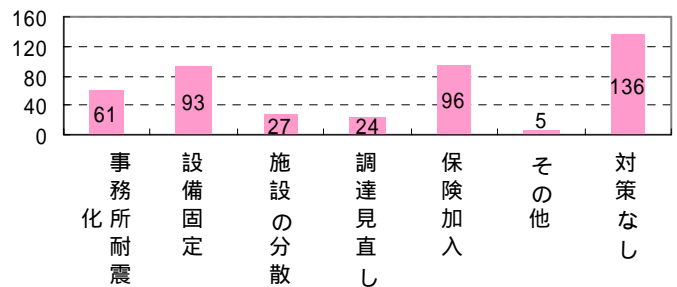
東日本大震災以降、防災意識が高まっていますが、実に8割を超える方がご家庭で何らかの対策をしているか、予定しているという結果になりました。対策の具体的内容では、個人レベルのできる事（比較的経済的負担の少ない事）から始められておられます。

（2）勤務先における防災対策状況 ~ 75%が高い防災意識の下、何らかの対策を実施 ~

勤務先における防災対策 個人の視点(名)



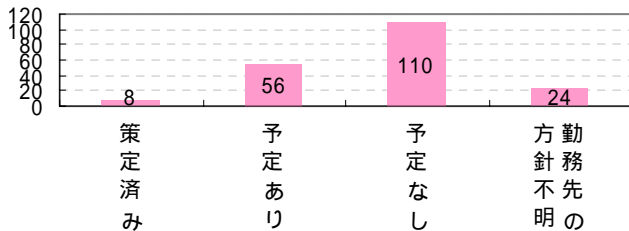
勤務先における防災対策 経営者の視点(名)



勤務先における防災対策を個人の視点と経営者の視点の双方から調査した結果、ご家庭同様高い実施率がみられました。いずれにおいても、比較的負担の少ない身近な対策から始められておられます。また、興味深い点として、経営者の方が「保険の加入」を進めておられることです。会社を守る、従業員を守るのに保険は必須であると考えておられる事が鮮明になりました。

（3）勤務先におけるBCP作成状況 ~ 策定、策定予定は30%に留まる結果 ~

勤務先におけるBCP策定状況(名)



事務負担や、事業所規模によって策定方針はまちまちな結果となりました。しかしながら、日本全体の流れは、確実にBCP策定を求める方向を向いており、当地域の事業所においても今後BCP意識の高まり、策定が進んでいくものと考えております。



景気実感指数 DIの算出方法

評価段階	5	4	3	2	1
現状	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準	(良い)	(やや良い)	(どちらでも)	(やや悪い)	(悪い)
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

5段階評価での回答を集計し、評価の構成比を算出し、それに上記の付与点数を掛けて合計値(=DI値)を算出します。DIはモニターの方々の「景気の動きに対する投票」と言えます。



地域経済研究グループ

〒471-8601 愛知県豊田市元城町1-48

電話 0565-36-1384
URL <http://www.toyoshin.co.jp>